

大正から未来へ

お母さんの目線から見た
100年前から100年後

なぜ今、日本のお母さんにタイプが必要なのか？



1925年(大正末期) 100年前



[日本の状況]

- 家制度
- 農村中心社会
- 都市と農村の格差

1925年(大正末期) 100年前

Si (継承)

[農村の母の一日]
～家を守る母～



1925年(大正末期) 100年前

[都市の女性の社会進出]

職業婦人(事務職や専門職)の誕生



医師、看護師



和文タイピスト

1925年(大正末期) 100年前

[母親向け雑誌]



大正6(1917)年2月刊行

1926～1989年(昭和)



[日本の状況]

- 第二次世界大戦
- 戦後
- 高度経済成長

1926～1945年

[戦時中の母]
～命を守る母～



1945年～

[戦後の生活]
～平和と再出発を願う母～



1955~1973年(昭和)

Te (成果)

[高度経済成長]



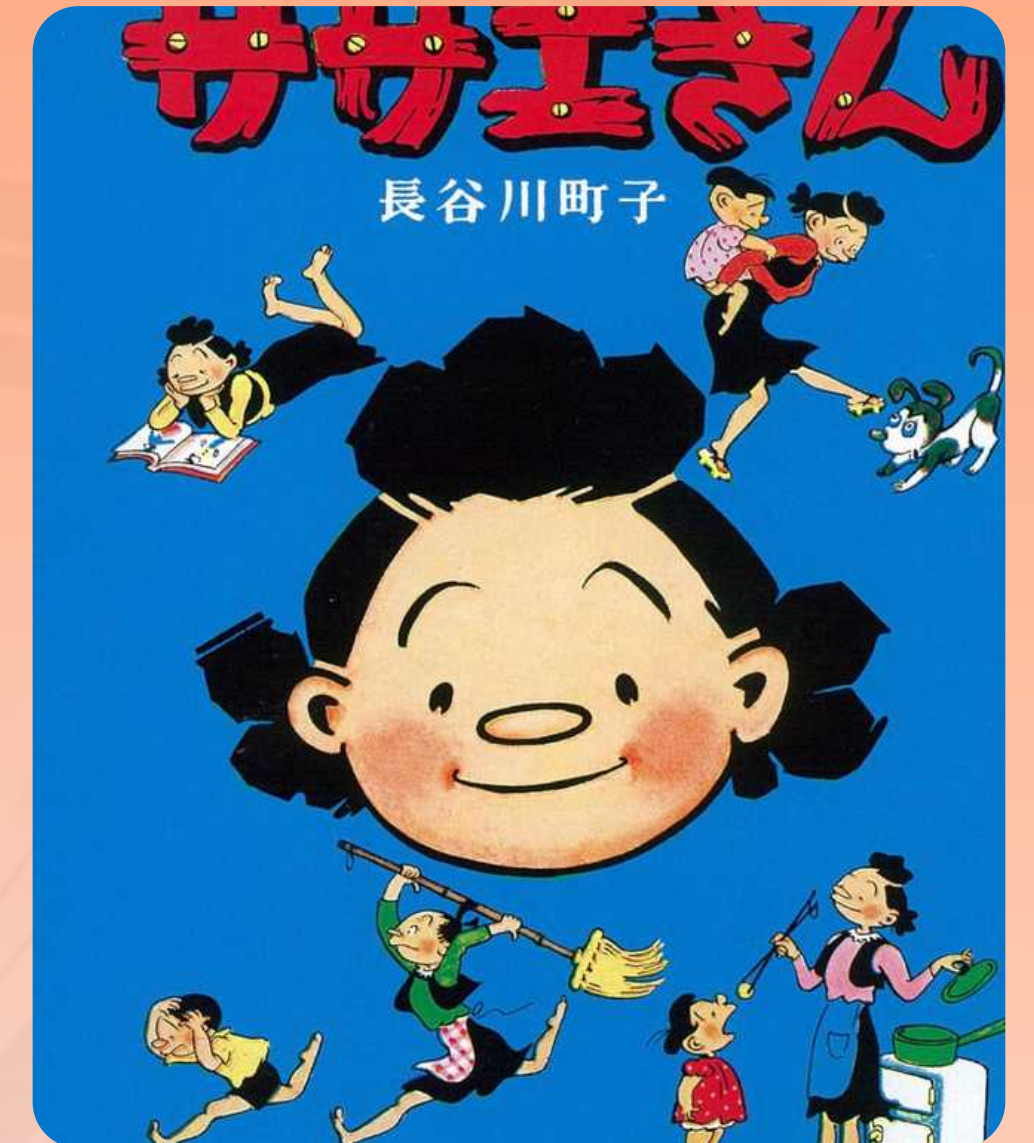
モーレツ社員

Kyū Sakamoto:
Sukiyaki (Ue o muite
arukō)

Metrics Spec

1955～1973年(昭和)

[高度経済成長]
～生活が少しずつ豊かに～



1973～1989(昭和)

[安定成長 (一億総中流)]
～平均的な生活を送る幸せ～



1989～2019年(平成)



[日本の状況]

- バブル崩壊
- 共働き増加
- 個性尊重教育

1989～2019年(平成)

Fi (個人の価値)

[共働き増加]
～共働きママ～



2019年～現在(令和)



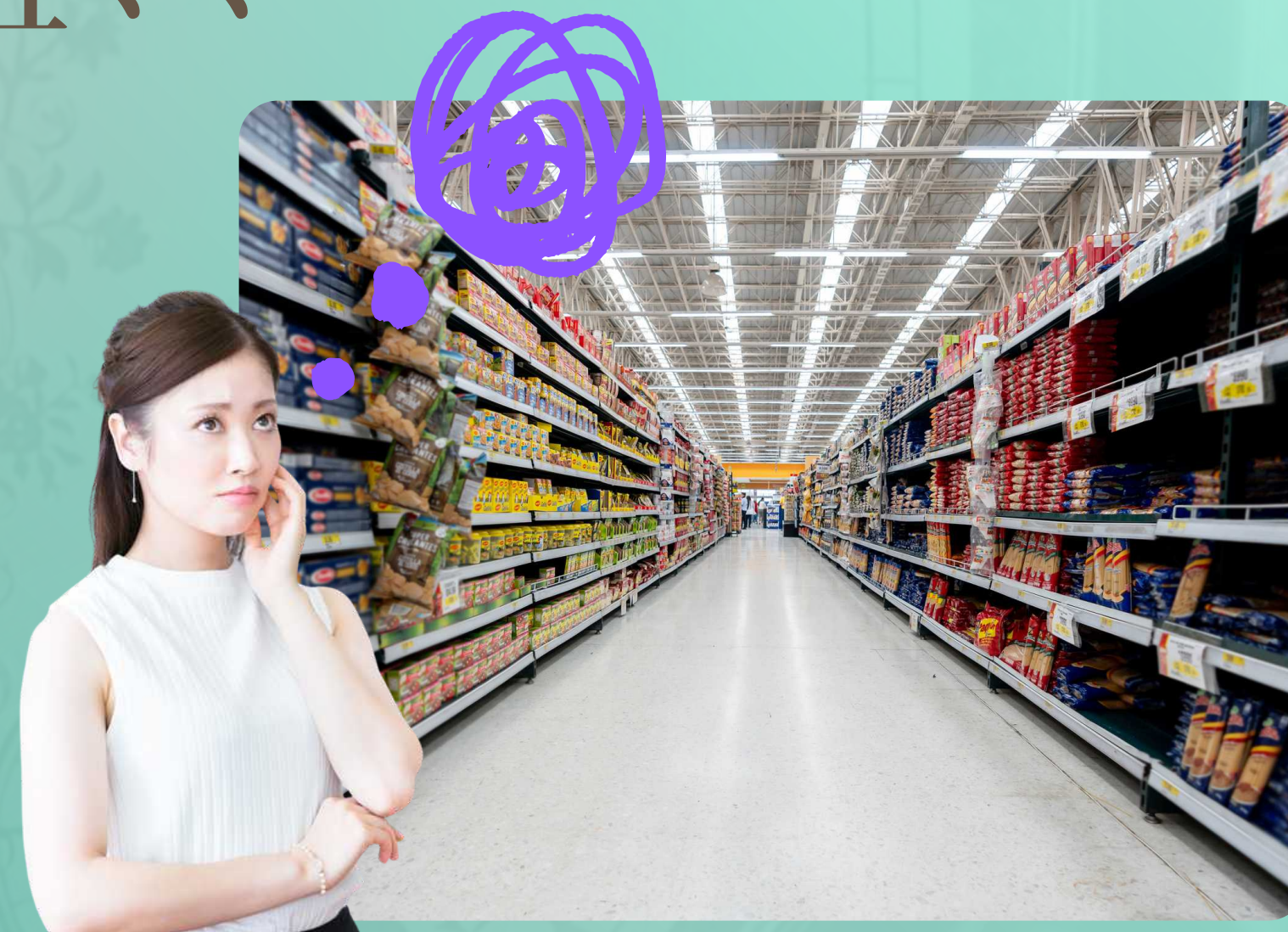
[日本の状況]

- SNS
- 情報過多
- 多様性

2019年～現在(令和)

Ne (可能性)

[多様化する家族の形]
～多様性ママ～



2019年～現在(令和)

[自分の基準とは?]



[印象に残ったことはなんですか？]

15分間のブレイクアウトルーム♪



100年前からお母さん達は
時代ごとの基準に合わせてようと
努力してきました

でも次の時代は
“人の違いを理解する力”が
自分の基準になったとしたら。。

『タイプという基準』を
日本のお母さん達が学び続けると。。



未来(100年後)

2125年の日本社会

『人を育てる文化』
～心のインフラ～



主観という物差し



家庭というラボ



連鎖する理解



違いが当たり前の教室



人と関わる楽しさ



凸凹を活かすチーム



結婚と子育ての希望



和の精神



未来は
あなたの手の中に



お母さんの笑顔の「種」を 100年後の未来へ繋いでいきます

